

(様式4)

平成29年度 中国・四国ブロック事業報告

1. 活動テーマ

「保健・医療・福祉における課題を、政策課題として発信できる人材育成を目指す」

2. 目的

- ・国の動向を踏まえた、各自治体の課題解決の方策を検討する機会とする。
- ・研修会等を通じて、保健師長会の活動への関心を高める。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	4月～7月	各支部	メール等による情報交換・研修会準備等
2	7月15日(土) 10:00～12:00	山口県 周南市徳山保健センター	【理事・支部長会議】 参加者 14名 1 ブロック研修会の打ち合わせ 2 情報交換 「人材育成」を中心に意見交換 3 会長より情報提供 保健師教育の動向等 4 常任理事会報告(資料配布)
3	7月15日(土) 13:15～16:00	山口県 周南市徳山保健センター	【研修会】 参加者 80名 1 全国保健師長会活動報告 全国保健師長会長 青柳玲子 氏 2 研究報告 「地域包括ケアシステム構築の推進に係る保健師の役割に関する研究」 全国保健師長会調査研究委員長 浅井 澄代 氏 3 講演Ⅰ 「厚生労働省に出向して ー地方行政に期待することー」 講師 下関市保健部成人保健課 中野 遼平 氏 4 講演Ⅱ 「富士フィルムの変革と人材育成」 講師 富士フィルム人事部長 座間 康 氏 (厚生労働省「保健師に係る研修の在り方等に関する検討会」構成員)

4. 結果・課題

理事・支部長会は、事前に協議議題を集約し、①人材育成 を中心に意見交換を行い、②保健師活動の可視化、③保健師の配置、④子育て世代包括支援センターの展開、⑤災害時保健師行動（活動）計画の策定等の議題については資料を共有した。議題数に対して協議時間が不足し不快感は残ったが、貴重な交流の場となった。

会長には、会議及び研修会を通じて国の動向や会の活動を報告いただき、参加者の保健師長会に対する意識が高まった。

研修会は、企業の人材育成や厚生労働省への出向という、今までと異なる視点からの人材育成の講義が参考となったという意見が目立った。また、地域包括ケアシステムの構築については会員の関心が高く、今後の事業推進の参考となった。

5. 支部活動の特徴

研修会は、会員以外にも開放し広く保健師の参加を求めた。

今年度はブロック開催県が地理的にブロックの端にあり、交通アクセスに時間を要するため、会議は研修会と同日開催とした。

6. 委員・支部長

	氏名	所属
○ 理事	小野 みさ江	山口県下関児童相談所
理事	古川 智恵	広島市南区厚生部保健福祉課
支部長	鳥取県 大塚 月子	鳥取県東部福祉保健事務所
〃	島根県 錦織 紀子	島根県出雲市健康福祉部健康増進課
〃	岡山県 西尾 恵	岡山県保健福祉部保健福祉課
〃	広島県 田高 和子	広島県西部厚生環境事務所・保健所広島支所
〃	広島市 井本 妙子	広島市安佐北区厚生部保健福祉課
〃	山口県 河上屋 里美	山口県萩市健康増進課
〃	徳島県 猪井 弘子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部
〃	香川県 松原 佳代子	香川県小豆総合事務所保健福祉課
〃	愛媛県 青野 桂子	愛媛県中予保健所健康増進課
〃	高知県 窪内 悦子	高知県中央東福祉保健所

責任者○印